

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[53] 秋田とドイツの「まちづくり」国際比較 (秋田市とドイツ・ハレ市におけるコンパクトシティ政策・行政)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 講師 寺迫 剛 (計1名)
授業概要	今まさに岐路にある「多核集約型コンパクトシティ」としての秋田市のこれまでとこれからについて、ドイツの中規模都市ハレ市等と比較しながら、比較政治学的、行政学的、公共政策論的、都市政策論的な文脈で考えましょう。		
授業方針	カレッジプラザのある明德館ビル（2005年竣工）を含め、2010年代まで中心市街地の再開発に取り組んできた秋田市政は、2020年末以降、それまで抑制していたはずの郊外の外旭川地区でのイオン複合施設やサッカースタジアムを含む新規大規模開発推進へ政策を転換しました。なぜ？これからどうなる？秋田に関係する誰もが影響を受けるからこそ、知っておくこと、欧州との比較の「ものさし」をあてることに価値があるはずです。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学（平日9：00～17：00） 電話：018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
遠隔授業時 連絡先	（当日緊急時のみ）科目担当者E-mail：terasako@nau.ac.jp（寺迫先生）		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「コンパクトシティとしての現状と課題」 <8月1日（火）13:00～14:30> そもそもコンパクトシティ（政策）とは何か？から始め、秋田市の計画や戦略を概観しつつ、その現状について認識しましょう。その際、比較の視点として、担当教員が実際に数年間留学していたドイツのハレ市についても紹介します。</p> <p>第2講：「コンパクトシティとしての将来の見通し」 <8月1日（火）14:40～16:10> 秋田市が推し進める「外旭川地区まちづくり基本構想」が今後どのように推移するにせよ、ドイツの事例も参照しつつ「まち・ひと・くらし」の将来像について検討しましょう。秋田の未来がどうなっちゃうのか、「信じるか信じないかは・・・」ではなく、「信じようが信じまいが」あなた達次第です！</p>			
その他			
テキスト	レジュメを配付あるいは、Zoom等で各自のデジタルデバイスに共有します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	公共(現代社会)、政治・経済、地理、歴史総合		